

平成28年11月22日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり 電気温風機（セラミックファンヒーター）、電子レンジ、電気冷蔵庫に関する事故（リコール対象製品） について

（詳細は次頁以降参照。）

1. ガス機器・石油機器に関する事故 1 件
（うち石油ストーブ（開放式）1件）
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故 6 件
（うちノートパソコン2件、電気温風機（セラミックファンヒーター）1件、電子レンジ1件、電気冷蔵庫1件、照明器具1件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故 4 件
（ルーター（パソコン周辺機器）2件、光回線終端装置（パソコン周辺機器）1件、電子レンジ1件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）において、審議を予定している案件
該当案件無し 1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 森田電工株式会社（現 株式会社ユーイング）が製造した電気温風機（セラミックファンヒーター）について（管理番号：A201600454）

① 事故事象

森田電工株式会社（現 株式会社ユーイング（法人番号：7120001119597））が製造した電気温風機（セラミックファンヒーター）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のセラミックヒーターユニットの中央端子と電源配線のファストン（平型）端子部において、接触不良による接触抵抗により過熱が生じ、出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について 同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、

1995年（平成7年）12月18日以降、複数回にわたって新聞社告を行い、1998（平成10年）年9月17日からウェブサイトへ情報掲載を行い、対象製品について製品回収及び返金を実施しています。

③対象製品：機種名、製造番号、製造期間、対象台数

機種名	製造番号	製造期間	対象台数
MDS-1200CT	M100001 ～ M131000	1989年6月 ～ 1989年 11月	26,000台

1995年（平成7年）12月18日からリコール（製品回収・返金）を実施
回収率 3.3%（2016年11月20日時点）

<リコール対象製品での事故件数> 当該事故（管理番号：A201600454）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の

内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	0	—	2012年度	0	—
2015年度	0	—	2011年度	2	火災
2014年度	0	—	2010年度	0	—
2013年度	1	火災			

＜対象製品の外観及び確認方法＞ 1) 対象製品の
外観



2) 対象製品の確認方法 機種名及び製造番号は、商品裏側のラベルに表示して
います。



④使用者への注意喚起 対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収及び返金を受
けていない方は、直
ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】 株式会
社ユーイング

電話 番号：0120-911-597

受 付 時 間：9時～17時（土・日・祝日及び事業者指定休日を除く。）

ホームページ：<http://www.uing.u-tc.co.jp/announce/doc/a06000001.html>

(2) 株式会社千石が輸入し、岩谷産業株式会社が販売した電子レンジについて
(管理番号：A201600455)

①事象について 株式会社千石（法人番号：5140001076302）が輸入し、岩谷産業株式会社が販売し

た電子レンジを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について 販売事業者である岩谷産業株式会社は、当該製品を含む対象製品（下記③）につい

て、事故の再発防止を図るため、2003年（平成15年）9月2日にウェブサイトへ情報を掲載するとともに、これまで複数回の新聞社告、テレビCM放映により使用者に対して注意喚起を行い、対象製品について無償点検及び修理（スイッチ部の交換）を実施しています。

③対象製品：機種・型式、製造番号、製造期間、対象台数

機種・型式	製造番号	製造期間	対象台数
IM-574	70301～90220	1997年～1999年	30,590
IM-574S	80110～90117	1998年～1999年	6,017
IM-575	80903～01015	1998年～2000年	48,224
IM-575S	90207～00325	1999年～2000年	2,820
合 計			87,651

2003年（平成15年）9月2日からリコール（無償点検・修理）を実施 改修率：13.9%（2016年10月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数> 当該事故（管理番号：A201600455）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	0	—	2012年度	3	火災
2015年度	2	火災	2011年度	3	火災
2014年度	4	火災	2010年度	9	火災
2013年度	4	火災			

<対象製品の外観及び確認方法>



注) 製造時期ラベルで対象製造年を御確認ください。

④使用者への注意喚起 対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】 岩谷産業株式会社

電話番号：0120-00-9930

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）ウェブサイト：

http://www.iwatani.co.jp/jpn/top_info/detail.php?idx=8

(3) シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫について（管理番号：A201600456）

①事象について シャープ株式会社（法人番号：6120001005484）が製造した電気冷蔵庫を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー（起動用電気部品）内のPTC素子（電流を制御する部品）の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損したものと考えられます。

②再発防止策について 同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2012年（平成24年）4月16日にウェブサイトへ情報を掲載し、翌17日に新聞社告を行うとともに、販売店を通じて使用者にダイレクトメールの送付、注意喚起チラシを配布するなど、対象製品について無償点検及び部品交換を実施しています。

③対象製品：製品名、機種・型式、製造番号、製造期間、対象台数

製品名	機種・型式	製造番号	製造期間	対象台数	
電気冷蔵庫	シャープ ブランド	SJ-350JB(-H)	全ての製造番号	1996年12月 ～ 2001年 3月	15,600
		SJ-E35KC(-H)			26,300
		SJ-EX357(-H)			20,300
		SJ-EX447(-H)			29,700
		SJ-V35WB(-H)			3,400
		SJ-V35WC(-H)			4,500
		SJ-W358D(-G/-H)			6,500
		SJ-W359D(-C/-H)			10,200
		SJ-W35A(-G/-H)			73,380
		SJ-W35B(-G/-H)			74,920
		SJ-WA35C(-C/-H)			130,672
		SJ-WE38A(-G/-H)			68,245
		SJ-WE44A(-G/-H)			54,300
		SJ-WH350(-C)			8,400
		SJ-WH380(-C)			7,900
		SJ-WJ440(-H)			4,300
		SJ-WS350(-H)			1,700
		SJ-E30B(-W)			10010001～10019910
	SJ-E30B(-C)	20010001～20059210			
	SJ-E30B(-H)	30010001～30031480			
無印良品 ブランド	SJ-R35C	全ての製造番号		48,780	
				60,373	
				5,500	
合 計				737,080	

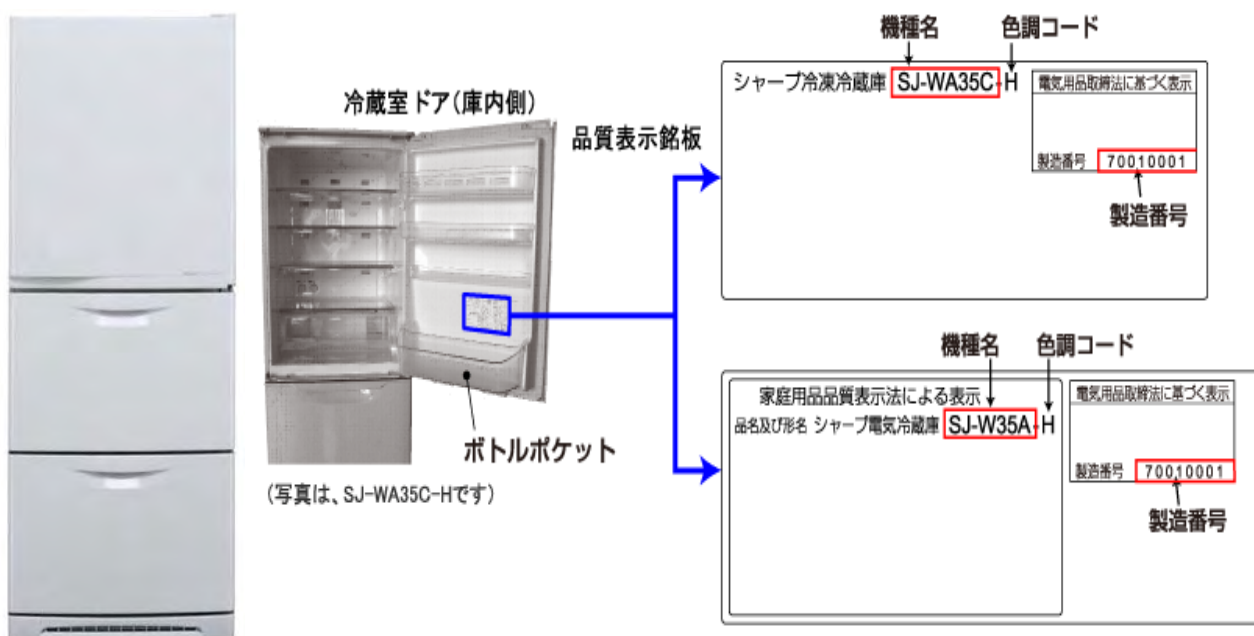
※表中()内は色調コードです。

2012年（平成24年）4月16日からリコール（無償点検・部品交換）を実施
改修率：30.4%（2016年10月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数> 当該事故（管理番号：A201600456）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	1	火災	2012年度	4	火災
2015年度	1	火災	2011年度	2	火災
2014年度	1	火災	2010年度	0	—
2013年度	6	火災			

<対象製品の外観及び確認方法>



注) 冷蔵庫ドア（庫内側）に、上図のいずれかの品質表示銘板が貼付されています。

④使用者への注意喚起 対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】 シャープ株式会社

社 電話番号：0120-404-511

受付時間：9時～18時（月～土曜日）

9時～17時（日曜・祝日）ウェブサイト：

http://www.sharp.co.jp/support/announce/sj_info_120416.html

**【本発表資料の問合せ先】 消費者庁消費者安
全課（製品事故情報担当）**

担 当：柳川、平野、清重

電 話：03-3507-9204（直通）

F A X：03-3507-9290

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：下出、高橋

電 話：03-3501-1707（直通）

F A X：03-3501-2805